

SUPERBIKE EXPRESS--

EXtra, EXpert and EXtreme

2019 MFJ
ALL JAPAN
CHAMPIONSHIP
ROAD RACE

SUPERBIKE
EXPRESS 4



長尾健吾が初優勝の地で再び勝利を手に入れる! 奥田教介が2位、小山知良が岡本裕生とのバトルを制し3位

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

QUALIFYING PRACTICE to RACE 1
REPORT & INTERVIEW

全日本ロードレース選手権、2019年シーズンの前半戦を締めくくりとなる第4戦筑波を迎えた。昨年よりST600クラス、J-GP2クラス、J-GP3クラスに加えMFJ CUP JP250も全て2レース制で行われており、今年も各クラスのシリーズチャンピオンを占う上で重要なラウンドとなる。

先だって6月12日(水)、13日(木)に行われた事前テストは、ドライコンディションだったが、レースウィークの天気予報は、雨マークがあったり、降水確率が高かったりしており、ウエットコンディションでのレースも予想された。金曜日は、雲が多く、筑波サーキットの周辺には雨雲も多く通っていたが、時折パラついた程度で、ほぼ全セッションドライコンディションで走行できていた。

翌土曜日の天気は回復方向かと思われたが、お昼過ぎから雨という予報となっていた。午前中に行われた公式予選は、ドライでAグループのセッションがスタート。ここで國峰琢磨が、ただ一人57秒台に入れトップタイム。Bグループのセッション途中で雨が降ってきたため、予選グリッドは、組アタマ取りで決まることになった。レース1は、國峰がポールポジションを獲

得。2番手にBグループトップとなった長尾健吾がつけ、岡本裕生、小山知良と続いた。レース2のグリッドを決めるセカンドタイムでは、岡本がトップとなりポールポジション。長尾、國峰、奥田教介、荒川晃大、小山と続くことになった。

その後、雨は本降りとなり路面はウエットとなりJP250、J-GP3、J-GP2とレースが行われST600クラスの決勝を迎える。このころには、雨はほぼ止んでいたが、各ライダーはレインタイヤでグリッドに着いていた。ここでウエット寄りのセッティングに変更した者、ドライセッティングのまま臨んだ者と明暗が分かれる結果となった。

好スタートを切ったのは、長尾と岡本だった。1コーナーでは、イン側を取った岡本が前に出て行き、長尾、小山、南本宗一郎、奥田と続いて行く。ウエット寄りのセッティングにした岡本は、オープニングラップから全力で飛ばし、2番手の長尾を引き離してホームストレートに戻って来る。これを長尾、小山、南本、奥田が追い、ポールポジションの國峰は、ペースが上がらずトップグループに加わる事ができない。2周目には奥田が南本をかわし4番手に浮上すると小山の背後につけ、5周目には、奥田が小山をかわし3番手に上がる。雨は止み路面は乾く一方となり、トップを走る岡本は厳

しい状況となって行く。これを見た長尾は、11周目の1コーナーでトップに浮上すると、そのまま岡本を引き離して行く。岡本の背後には、奥田が迫り12周目に奥田が2番手に浮上するとトップの長尾を迫る。

レース終盤に入ると長尾は、さらにペースを上げ残り2周となった19周目に自己ベストをマーク。奥田を寄せ付けずトップでゴール。昨年、全日本初優勝を飾った筑波ラウンドで再び勝利を手に入れた。2位に事前テストから好調だった奥田が入った。岡本と小山の一騎打ちとなった3位争いは、最終ラップの1コーナー立ち上がりで小山が岡本をかわして制する結果となった。5位に単独走行となっていた南本が入り、6位には中村竜也が佐野優人とのバトルを制してゴール。8位に伊達悠太、9位に岩田悟、10位に杉山優輝、11位に古山颯太、12位に荒川晃大と続いてゴールした。國峰は、15位までポジションを落としてチェッカーを受けている。

日曜日の天気気が気になるところだが、レース1で上位につけた長尾、奥田、小山、岡本、南本などはレース2でも速さを見せそう。レース1でうまく走れなかった國峰、荒川などはリベンジしたいところだろう。テクニカルでタイトな筑波サーキットを20周走り切りトップでゴールするのは、どのライダーか!?

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP



RIDERS INTERVIEW

レース1優勝 / #50長尾健吾
NCXXRACING&善光会 TEAMけんけん

『今年欲しかった優勝なので、非常にうれしいです。開幕戦は、勝負できるかなと思ながらも2位。今回は表彰台にも乗ることができなかったですから。サイティングラップで、路面が乾いてきそうだと思っていたのですが、スタート後も、その傾向でした。岡本選手の背後につけているとホイールスピンさせて厳しそうでしたが、ボクも、それほど余裕があるわけではありませんでした。ただブレーキングのアドバンテージは、あったので1コーナーでしっかり決めてトップに立ってからは、乾いている路面の上を走らせていたら、気付いたら20周経っていたという感じでした。日曜日がどんなコンディションかわかりませんが、どんなコンディションでもしっかり準備してきたので、また優勝できるよう全力を尽くすだけです』

レース1・2位 / #57奥田教介
Team MF & Kawasaki

『今回の筑波ラウンドには、並々ならずかけていました。チームも事前テストから念入りにマシンを作ってくれていましたが、決勝だけ、こんな路面状況になってしまい難しいレースになりました。路面が乾いて行ったのですが、そんなコンディションは苦手意識がありました。勝てなかったことは悔しいですが、ホームストレートで転びそうになりましたし、しっかり完走して2位になったことは、悪くはないと思います。レース2は、できれば晴れて、一つでも上に行けるようにしたいですね』

レース1・3位 / #230小山知良
日本郵便 Honda Dream TP

『今回、J-GP3クラスに、MFJアカデミーやMuSASHiスカランシップの生徒が出ているので、いつも教えていることを実践して、見本となる走りをしてはくれないか。岡本選手は、フェアなライダーですし、お互いどんな走りをするのか知っているの、バトルをしていて楽しいですね。レース2は、できればドライで気持ちよくレースをしたいですね。長尾選手や奥田選手のような筑波マイスターがいるので勝つことは難しいですが、ボクも20年前は、そう呼ばれていたんですけれどね。精一杯走るだけです』

決勝Race1 正式結果表

Pos	No.	Name	Team	Machine	Laps	RaceTime	Delay
1	50	長尾 健吾	NCXXRACING&善光会 TEAMけんけん	YZF-R6	20	21'06.091	
2	57	奥田 教介	Team MF & Kawasaki	ZX-6R	20	21'07.950	1.859
3	230	小山 知良	日本郵便 Honda Dream TP	CBR600RR	20	21'10.344	4.253
4	1	岡本 裕生	51ガレージニトロレーシング	YZF-R6	20	21'11.012	4.921
5	6	南本 宗一郎	AKENOSPEED・YAMAHA	YZF-R6	20	21'14.577	8.486
6	69	中村 竜也	RS-ITOH&AUTOBOY	ZX-6R	20	21'22.646	16.555
7	97	佐野 優人	BATTLE FACTORY	CBR600RR	20	21'23.121	17.03
8	64	伊達 悠太	BATTLE FACTORY & KIMA Racing	CBR600RR	20	21'28.962	22.871
9	420	岩田 悟	日本郵便 Honda Dream TP	CBR600RR	20	21'29.152	23.061
10	13	杉山 優輝	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	20	21'29.333	23.242
11	12	古山 颯太	伊藤レーシングBORGカスタム	YZF-R6	20	21'30.988	24.897
12	54	荒川 晃大	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	20	21'31.414	25.323
13	98	佐野 勝人	チーム阪神ライディングスクール	ZX-6R	20	21'35.021	28.93
14	39	和田 留佳	will-raiseracingRS-ITOH	ZX-6R	20	21'35.099	29.008
15	55	岡峰 啄磨	日本郵便 Honda Dream TP	CBR600RR	20	21'35.578	29.487
16	40	菅原 陸	保険職人GBSレーシングYAMAHA	YZF-R6	20	21'35.701	29.61
17	48	横山 尚太	ガレージL8 Racing Team	YZF-R6	20	21'36.270	30.179
18	51	関野 海斗	51ガレージニトロレーシング	YZF-R6	20	21'37.041	30.95
19	41	田所 隼	Honda Suzuka Racing Team	CBR600RR	20	21'38.459	32.368
20	45	長尾 健史	TEAMけんけん with BEE	YZF-R6	20	21'40.521	34.43
21	22	中山 耀介	TEAM SHOTA	YZF-R6	20	21'47.425	41.334
22	090	斉藤 魁	au・テルル MotoUP RT	CBR600RR	20	21'47.542	41.451
23	53	家根谷 大晟	Team MF & Kawasaki	ZX-6R	20	21'50.963	44.872
24	47	鈴木 光来	ENDLESS TEAM SHANTI	CBR600RR	20	21'52.187	46.096
25	46	中島 元氣	Honda Suzuka Racing Team	CBR600RR	20	21'52.862	46.771
26	28	松川 泰宏	MOTO BUM+SAI	CBR600RR	20	21'57.421	51.33
27	88	名越 公助	TEAM PLUSONE with TARO	YZF-R6	20	21'57.853	51.762
28	340	岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-6R	20	21'59.492	53.401

**** 以上チェッカー ****

**** 以上完走 (15Laps) ****

14	行村 和樹	Kohara Racing Team	CBR600RR	8	10'02.892	12Laps
71	上原 大輝	SDG Mistresa RT HARC-PRO.	CBR600RR	1	2'36.722	19Laps

Fastest Lap / 1'02.745 (7 / 20) 118.766 km/h #57 奥田 教介 / Team MF & Kawasaki

Start Time : 15:09'03 Finish Time : 15:30'09.01

Entry : 41 Start : 30 Finish : 28

(レース終盤、小山知良と岡本裕生のドッグファイト)



JP 250

Presented by DUNLOP

(写真: ナショナルクラスの表彰台)



森 俊也(INT)と
田中 敬秀(NAT)が優勝!

2019 MFJカップJP250選手権 第3戦筑波の決勝レース1は、ウォームアップ時の転倒処理で delays。11周に減算されてリスタートした。

予選2番手の森俊也がレースをリードし、周回毎に後続を引き離す展開に。後方では谷本音虹郎、笠井悠太、永島潤太郎、中沢寿寛らがバトルを繰り広げ、激しく順位を入れ替える。しかし、8周目に転倒車両発生で赤旗中断。そのままレースは終了となった。優勝はインターが森、ナショナルは田中敬秀となった。

決勝レース1正式結果(7周 / 上位15位)

●6月22日(土) 決勝 天候 / 雨 路面 / ウエット 出走28台

Pos	No	Cls.	Rider	Team	RaceTime
1	9	I	森 俊也	TEAM TEC.2	8'15.459
2	33	I	永島 潤太郎	チームライブ・ドリーム北九州	8'22.083
3	20	I	笠井 悠太	TEAM TEC.2	8'23.157
4	3	I	谷本 音虹郎	speedheart DOGFIGHTR YAMAHA	8'23.245
5	55	I	中沢 寿寛	i-FACTORY&Mガレージ	8'23.358
6	37	I	中村 龍之介	ENDLESS TEAM SHANTI	8'27.584
7	26	N	田中 敬秀	7CエスホームCAC+セクレテール=NTR	8'29.282
8	54	N	片山 千彩都	GOSHI Racing	8'29.616
9	35	N	3 佐々木 将旭	Team KYOEI GO&FUN	8'30.892
10	49	N	4 松岡 玲	キジマKISSレーシングチーム	8'33.959
11	4	I	7 吉澤 隆	CLUBKENJIN&ベントグラム&吉澤企画	8'34.503
12	64	I	8 及川 玲	ベントグラム&メルカート(株)&(有)トク	8'37.277
13	17	I	9 石井 千優	TONERIT千葉北谷バイクコース+NPLAN	8'39.482
14	22	N	5 岡部 怜	Team i-FACTORY	8'42.249
15	16	N	6 青木 登夢	ライダーズサロン横浜	8'45.257



榎戸育寛が独走で待望のクラス初勝利!



予選3番手の榎戸育寛が好スタートを決めてホールショットを奪うとそのまわり道を広げてオープニングラップを戻って来た。2番手には名越哲平、作本輝介、小谷咲斗、岩崎哲朗、阿部恵斗らが続く。レース序盤で早くも榎戸と名越の2台がトップ2となり、3番手を走っていた作本は遅れ、後方の集団に飲み込まれて行く。

後半に入っても榎戸のペースは変わらず、名越との差を周回毎に広げて行く走りを見せる。そのままトップでチェッカーを受け、嬉しいクラス初優勝を飾った。名越が2位、一旦は集団に埋もれてしまうが、そこから巻き返した作本が意地の3位表彰台を獲得した。

4位に岩崎哲朗、5位には阿部恵斗が入った。

QUALIFY to RACE 1 REPORT & RESULT

決勝Race1 正式結果表 ●6月22日(土) (13周)
天候:雨 コース:ウエット

Pos	No.	Name	Team	BestTime
1	71	榎戸 育寛	SDG Mistresa RT HARC-PRO	21'06.016
2	634	名越 哲平	MuSASHI RT HARC-PRO.	21'15.764
3	4	作本 輝介	Team高武 RSC	21'21.126
4	70	岩崎 哲朗	OGURA CLUTCH with RIDE IN	21'21.432
5	14	阿部 恵斗	Webikeチームノリツクヤマハ	21'24.849
6	22	小谷 咲斗	TEAM PLUSONE with TARO	21'24.966
7	392	尾野 弘樹	ミクニ テリー&カリ	21'37.962
8	36	徳留 真紀	マルマエMTR	21'44.226
9	18	豊島 怜	SpeedHeart DOGFIGHTR YAMAHA	22'02.805
10	19	井手 翔太	HITMAN RC甲子園ヤマハ	21'07.766
11	79	朝比奈 正	アサヒレーシング	21'21.325

***** 以上チェッカー *****

***** 以上完走 (15Laps) *****

Fastest Lap / 1'02.579 (12 / 20) 119.081 km/h

#71榎戸 育寛 / SDG Mistresa RT HARC-PRO



2020年からST1000がスタート! タイヤはダンロップのワンメイク

2020年からJ-GP2クラスにかわりスタートするST1000クラス。改造範囲はST600とほぼ同じと狭く、ECUは、登録制度と買取規制がありコストの高騰を防ぎ、タイヤはダンロップのワンメイク(2022年まで)でローコスト、イコールコンディションなクラスを目指す。鈴鹿8耐のSSTクラス、今年から始まったアジアロードレース選手権第 (ARRC) ASB1000クラスに

通じるクラスとなり、次代のJSB1000クラスやMotoGPロードレース世界選手権Moto2クラスに通用するライダーを輩出して行きたいと言う。

タイヤは、ASB1000と同じものとなり、レースウイークに2セット使用できる。他にもエントリーサポートがあり充実したクラスになりそうだ。



福嶋佑斗が激しい雨の攻防で逆転!全日本初優勝!

QUALIFY to RACE 1 REPORT & RESULT

決勝Race1 正式結果表 ●6月22日(土) (13周)
天候:雨 コース:ウエット



早朝の予選ではドライコンディションだったが、昼前から降り出した雨はポツポツと降り続き、J-GP3は雨脚は強くないものの、ウエットコンディションのレースとなった。予選2番手の鈴木大空翔が好スタートからリードを広げる展開の中、転倒車両がコース上に残り赤旗中断。仕切り直しのレースは13周に減算されて始まった。

鈴木は再びホールショットを奪い、トップでオープニングラップを終えるが、今度は上位6台程度が集団を作る混走となる。2番手はポールポジションの長谷

川聖だったが、2周目に村瀬健琉がかわし、さらには鈴木をも捉えてトップに浮上する。しかし、鈴木が再びトップに立つと、集団の後方にいた福嶋佑斗、そして予選で健闘した大堀和基、雨に強い中山愛理。

雨が土砂降りになった終盤、福嶋が村瀬をかわして鈴木の後ろに付けると、11周目にトップに浮上。最終ラップも鈴木を抑えて、3年目にして全日本初優勝を飾った。トップ集団の中程にいた大堀が転倒し、その後順位を上げてきた特別枠参加の濱田寛太が長谷川、村瀬らをかかわして3位表彰台を獲得した。

Pos	No.	Name	Team	BestTime
1	88	福嶋 佑斗	Team Plusone+f	15'02.814
2	11	鈴木 大空翔	BATTLE FACTORY	15'02.900
3	55	濱田 寛太	ライダーズサロン横浜	15'03.922
4	392	村瀬 健琉	ミクニ テリー&カリ	15'06.391
5	36	長谷川 聖	CLUBY's	15'07.751
6	13	岡崎 静夏	Kohara Racing Team	15'10.754
7	14	中山 愛理	TEAM SHOTA	15'10.754
8	29	Senna Agius	MIE Racing	15'10.754
9	5	藤井 謙汰	Kohara Racing Team	15'12.654
10	17	太田 虎之進	WJ-FACTORY	15'17.603
11	20	高杉 奈緒子	41PLANNING	15'20.473
12	9	山本 恭裕	チームライフドリーム北九州	15'31.826
13	18	安村 武志	犬の乳酸菌jp/ プリミティブRT	15'31.826
14	52	藤田 哲弥	TEAM MASSA-R	15'33.833
15	21	村田 憲彦	CLUBY's	15'39.321
16	31	西田 信義	WJ-FACTORY	15'42.201
17	16	白石 玲菜	Dreamline Plusone	15'43.038
18	71	成田 彬人	Team P.MU 7C MIKUNI	15'44.246
19	61	柳沢 祐一	ENDLESS TEAM SHANTI	15'44.363
20	32	三好 菜摘	RG NIWA with オーテック・スズカ15'44.827	
21	15	野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	15'46.714
22	54	江澤 伸哉	team hiro'ck and HARC	16'06.786
***** 以上チェッカー *****				
23	34	細谷 翼	Team SRS-Moto	2Laps
***** 以上完走 (9Laps) *****				
64	大堀 和基	CLUB HARC-PRO.		6'57.313
50	山田 尚輝	team hiro'ck&HARC		2'30.961
41	宇井 陽一	41PLANNING		2'31.189
53	木内 尚汰	S-Speed		スタート出来ず

MFJ All Japan Road Race Championship Rd 4 in TSUKUBA 22 - 23 June 2019 公式予選結果



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走27台
●決勝レース2スタート/11:10(20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	36	長谷川 聖	CLUBY's	NSF250R	1'00.075
2	11	鈴木 大空翔	BATTLE FACTORY	NSF250R	1'00.460
3	392	村瀬 健琉	ミクニ テリー&カリ	NSF250R	1'00.474
4	64	大堀 和基	CLUB HARC-PRO.	NSF250R	1'00.599
5	14	中山 愛理	TEAM SHOTA	NSF250R	1'00.750
6	17	太田 虎之進	WJ-FACTORY	NSF250R	1'00.780
7	71	成田 彬人	Team P.MU 7C MIKUNI	NSF250R	1'00.816
8	18	安村 武志	犬の乳酸菌jp/ プリミティブRT	PRCS3d	1'00.889
9	88	福岡 佑斗	Team Plusone+f	NSF250R	1'00.920
10	20	高杉 泰緒子	41PLANNING	RC250R	1'00.950
11	13	岡崎 静夏	Kohara Racing Team	NSF250R	1'01.098
12	50 E	山田 尚輝	team hiro'ck&HARC	NSF250R	1'01.106
13	52 E	藤田 哲弥	TEAM MASSA-R	NSF250R	1'01.318
14	29	Senna Agius	MIE Racing	NSF250R	1'01.352
15	54 E	江澤 伸哉	team hiro'ck and HARC	NSF250R	1'01.377
16	55 E	濱田 寛太	ライダーズサロン横浜	NSF250R	1'01.433
17	53 E	木内 尚汰	S-Speed	NSF250R	1'01.458
18	34	細谷 翼	Team SRS-Moto	NSF250R	1'01.557
19	16	白石 玲菜	Dreamline Plusone	NSF250R	1'01.636
20	5	藤井 謙汰	Kohara Racing Team	NSF250R	1'01.647
21	15	野澤 秀典	ノザフレージングファミリー	NSF250R	1'01.677
22	9	山本 恭裕	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	1'01.707
23	31	西田 信義	WJ-FACTORY	NSF250R	1'01.882
24	32	三好 菜摘	RG NIWA with オーテック・スズカ	NSF250R	1'02.041
25	21	村田 憲彦	CLUBY's	NSF250R	1'02.094
26	61	柳沢 祐一	ENDLESS TEAM SHANTI	NSF250R	1'02.129
27	41	宇井 陽一	41PLANNING	RC250R	1'03.294

**** 以上予選通過 ****
73 Dheyo Wahyu Team P.MU 7C MIKUNI NSF250R 出走せず
予選通過基準タイム (1'05.027 / 3台 - 108%)
※「E」は特別参加枠該当選手となります。
Entry :28 Start :27



6月23日(日) 芝生広場※雨天中止
9時~12時、13時~16時

親子バイク祭り



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走29台
●決勝レース2スタート/10:25(20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	20	笠井 悠太	TEAM TEC.2	CBR250RR	R1'05.490
2	9	森 俊也	TEAM TEC.2	CBR250RR	1'05.587
3	27	石井 千優	TONERT千葉ボケバイクコース+N-PLAN	CBR250RR	1'05.648
4	35	Nat 佐々木 将旭	Team KYOEI GO&FUN	Ninja250	1'05.672
5	37	Int 中村 龍之介	ENDLESS TEAM SHANTI	CBR250RR	1'05.781
6	38	Nat 本郷 雅也	GO&FUN Racing Team KYOEI	CBR250RR	1'05.842
7	55	Int 中沢 寿寛	i-FACTORY&Mカレッジ	CBR250RR	1'06.062
8	54	Nat 片山 千彩都	GOSHI Racing	CBR250RR	1'06.063
9	3	Int 谷本 音虹郎	speedheart DOGFIGHTR YAMAHA	YZF-R25	1'06.092
10	49	Nat 松岡 玲	キジマKISSレーシングチーム	YZF-R25	1'06.103
11	33	Int 永島 潤太郎	チームライフ・ドリーム北九州	CBR250RR	1'06.197
12	11	Int 豊島 智博	RS-ITOH	Ninja250	1'06.206
13	64	Int 及川 玲	ペンタグラム&メルカート(株)&(有)トーク	CBR250RR	1'06.300
14	56	Nat 櫻井 芽依	キジマKISSレーシングチーム	CBR250RR	1'06.347
15	26	Nat 田中 敬秀	7CエムズホームCAC+セクレテール=NTR	CBR250RR	1'06.403
16	24	Nat 平松 太陽	TEAM TEC.2	CBR250RR	1'06.512
17	4	Int 吉澤 隆	CLUBKENJIN&ペンタグラム&吉澤企画	CBR250RR	1'06.768
18	71	Int 赤間 清	SDG Mistresa RT HARC-PRO.	CBR250RR	1'06.846
19	16	Nat 青木 登夢	ライダーズサロン横浜	CBR250RR	1'06.932
20	22	Nat 岡部 怜	Team i-FACTORY	CBR250RR	1'07.193
21	6	Nat 小坂橋 達也	YSS&スナイパーMGR.レーシングサービス	Ninja250	1'07.277
22	32	Nat 石塚 桂三	Team SANMEI	CBR250RR	1'07.346
23	12	Nat 清水 光則	クラブ1.2 クスタニ川口	CBR300R	1'07.647
24	67	Nat 冨塚 聖	ペンタグラム&プレストMRC	YZF-R25	1'08.424
25	73	Nat 遠藤 卓也	Masterlight RT maister & gare5	CBR250RR	1'08.908
26	48	Nat 櫻井 英雄	TG モトラッド+桜井企業レーシング	YZF-R25	1'08.943
27	17	Nat 阿部 真生騎	Webikeチームノリックヤマハ	YZF-R25	1'09.132
28	14	Int 金山 和弘	Taem 橋本組	CBR250RR	1'09.420
29	46	Nat 徳永 浩樹	CBR250RR	CBR250RR	1'09.459

**** 以上予選通過 ****
44 Nat 古賀 大造 TEAM TEC.2 & Barning DA CBR250RR 出走せず
予選通過基準タイム (1'10.688 / 3台 - 108%)
Entry :30 Start :29
"R" マークは、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは Int: 1'05.558



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走11台
●決勝スタート/14:25(20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	634	名越 哲平	MuSASHI RT HARC-PRO.	HP6-q	57.246
2	70	岩崎 哲朗	OGURA CLUTCH with RIDE IN	ZX-6R	57.335
3	71	榎戸 育寛	SDG Mistresa RT HARC-PRO	HP6-q	57.61
4	22	小谷 咲斗	TEAM PLUSONE with TARO	HP6q	57.642
5	4	作本 輝介	Team高武 RSC	MD600	57.687
6	392	尾野 弘樹	ミクニ テリー&カリ	GSX-R	58.212
7	14	阿部 恵斗	Webikeチームノリックヤマハ	YN6	58.369
8	36	徳留 真紀	マルマエMTR	HP6	58.676
9	18	豊島 怜	SpeedHeart DOGFIGHTR YAMAHA	YZF-R6	59.205
10	19	井手 翔太	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	59.883
11	79	朝比奈 正	アサヒレーシング	Z600	1'01.644

**** 以上予選通過 ****
予選通過基準タイム (1'01.887 / 3台 - 108%)
Entry :11 Start :11

Supported by BRIDGESTONE



●予選:天候/晴れのち雨 路面/ドライ~ウエット 出走44台
●決勝レース2スタート/15:20(20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	Second Time
1	1	岡本 裕生	51ガレージニトロレーシング	YZF-R6	58.159
2	50	長尾 健吾	NCXXRACING&善光会 TEAMけんけん	YZF-R6	58.249
3	55	國峰 啄磨	日本郵便 Honda Dream TP	CBR600RR	58.216
4	57	奥田 教介	Team MF & Kawasaki	ZX-6R	58.259
5	54	荒川 晃大	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	58.424
6	230	小山 知良	日本郵便 Honda Dream TP	CBR600RR	58.312
7	6	南本 宗一郎	AKENOSPEED・YAMAHA	YZF-R6	58.548
8	48	横山 尚太	ガレージL8 Racing Team	YZF-R6	58.785
9	45	長尾 健史	TEAMけんけん with BEE	YZF-R6	58.555
10	420	岩田 悟	日本郵便 Honda Dream TP	CBR600RR	58.841
11	12	古山 颯太	伊藤レーシングBORGカスタム	YZF-R6	58.665
12	64	伊達 悠太	BATTLE FACTORY & KIMA Racing	CBR600RR	59.026
13	13	杉山 優輝	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	59.716
14	340	岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-6R	59.092
15	97	佐野 優人	BATTLE FACTORY	CBR600RR	58.970
16	98	佐野 勝人	チーム阪神ライディングスクール	ZX-6R	59.181
17	40	菅原 陸	保険職人GBSレーシングYAMAHA	YZF-R6	59.025
18	28	松川 泰宏	MOTO BUM+SAI	CBR600RR	59.269
19	69	中村 竜也	RS-ITOH&AUTOBOY	ZX-6R	59.028
20	46	中島 元気	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR600RR	59.278
21	88	名越 公助	TEAM PLUSONE with TARO	YZF-R6	59.030
22	71	上原 大輝	SDG Mistresa RT HARC-PRO.	CBR600RR	59.290
23	39	和田 留佳	will-raiseracingRS-ITOH	ZX-6R	59.271
24	17	仲村 優佑	AKENOSPEED・YAMAHA	YZF-R6	59.536
25	14	行村 和樹	Kohara Racing Team	CBR600RR	59.341
26	090	斉藤 魁	au・テルル MotoUP RT	CBR600RR	59.550
27	51	関野 海斗	51ガレージニトロレーシング	YZF-R6	59.350
28	22	中山 耀介	TEAM SHOTA	YZF-R6	59.557
29	47	鈴木 光来	ENDLESS TEAM SHANTI	CBR600RR	59.363
30	53	家根谷 大晟	Team MF & Kawasaki	ZX-6R	59.574

**** 以上予選通過 ****
31 37 長谷川 修大 Honda Suzuka Racing Team CBR600RR 59.703
32 41 田所 隼 Honda Suzuka Racing Team CBR600RR 59.936
33 43 砂迫 孝太 TEAM PLUSONE YZF-R6 59.707
34 38 渡辺 海志郎 DOGFIGHTR SpeedHeart WTP YZF-R6 1'00.055
35 33 櫻井 賢一 MOTO BUM CBR600RR 59.885
36 36 丹羽 貴大 伊藤レーシングBORGカスタム YZF-R6 1'00.082
37 26 小山 葵 AKENO SPEED YZF-R6 1'00.329
38 44 平野 直太 TransMapRacing with ACE CAFE YZF-R6 1'00.248
39 77 佐藤 蓮之 オムステンレス工業+秋山工業WithSTR+YM CBR600RR 1'01.157
81 矢田 栄一朗 Y3 YZF-R6 出走せず
99 辻本 範行 TEAM VITAL SPIRIT YZF-R6 出走せず
予選通過基準タイム (1'02.661 / 3台 - 108%)
Entry :41 Start :39

INFORMATION



パワーアップして全国無料放送!!

全日本ロードレース選手権、全日本モトクロス選手権をダイジェスト編集。
モーターサイクルスポーツバラエティ「tv.motoちゃんねる」として全国無料放送のBS12で放映!!

- 放映予定
- 放送:毎月最終土曜日21:30~22:00 (月1回、3月~12月予定)
- ☆詳しくはBS12(トゥエルビ) <http://www.twellv.co.jp/>



全日本ロードレース選手権全戦・全クラス(JSB1000/J-GP2/ST600/J-GP3 & MFJカップJP250)の予選・決勝をライブ配信! 迫力ある映像をお届けします。
※通信環境により遅延配信となる場合もあります

インターネットライブ中継&動画配信も充実!!



YouTube「MFJ SUPERBIKE オフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!